

夏目漱石にゆかりのある他の施設も巻き込みながら第6旧居の新たな利活用を図り、市民や観光客が集う“きっかけ”を作りたい

テーマ3.夏目漱石にゆかりのある他の施設も巻き込んだ第6旧居の新たな利活用

現状

- 本市を含む熊本県内には、夏目漱石にゆかりのある文化的施設が多数点在しているが、十分活用できていない
- 第3旧居・第5旧居に加え、新たに第6旧居を取得した
- 令和8年度「来熊130年」、令和9年度「生誕160年」の記念年に向け、令和6年度から機運醸成に向けた取組を行う方針である
- デジタル技術を活用した文化施設の集客の取組について、小泉八雲記念館においてデジタルミュージアムやVR等を活用したコンテンツを既に実装した事例がある

目指す姿

全国に「熊本市×漱石＝くまもと漱石文化」が認知され、**市民や観光客が第6旧居や他の夏目漱石ゆかりの施設を目当てに集う**



解決したい課題

市民や観光客が集う“きっかけ”となるような、夏目漱石にゆかりのある他の施設も巻き込んだ**第6旧居の新たな利活用**を図りたい。

※データやICTの活用に加え**リアルな体験（飲食や文化活動など）**も組み合わせた利活用を図りたい。

【関連する取組】漱石にまつわるテレビドラマ制作・放映、シンポジウムの開催（令和6年度）

業務担当課：文化財課